

企業名：株式会社東泉ファーマ（とうせんファーマ）

英語表記：Tosen Pharma Co., Ltd.

設立：1953年（昭和28年）

本社所在地：東京都中央区日本橋元町X丁目

従業員数：約1,200名（2024年時点）

資本金：45億円

代表取締役社長：王立文（Wang Liwen）

概要

東泉ファーマは、戦後日本の復興期に設立された老舗製薬企業であり、長年にわたって抗生物質、ワクチン、精神神経系薬品などの分野で国内外に強いプレゼンスを誇ってきた。特に1970～90年代には、抗うつ薬「メンタリス」の成功により急成長を遂げ、当時の日本製薬業界で中堅から大手へと躍進。

しかし、2010年代以降、研究開発費の高騰と海外勢との競争激化により経営が悪化。2021年、中国広東省に本拠を置く医薬品コングロマリット「明陽医薬集団（Mingyang Pharmaceuticals）」により買収。

買収後の変化

- 社名・ブランドは維持：日本国内でのブランド力を考慮し、「東泉ファーマ」の社名は維持されたが、株式の100%は明陽医薬が保有。
- 経営陣の刷新：買収後、取締役の大半が中国側からの人材に刷新され、王立文が代表取締役に就任。
- 研究拠点の再編：従来の神奈川県横浜研究所は閉鎖され、一部機能は上海に移転。代わりに「共同開発ラボ」が東京・清瀬に設置された。
- 主力製品の転換：精神疾患・感染症領域に加え、中国市場で需要の高い生活習慣病（糖尿病・高血圧）向けジェネリック薬の製造が主軸となる。

現在の注目されているプロジェクト

- Project Reborn：日本発の抗うつ薬「メンタリス」の次世代版を中国・日本・東南アジア向けに共同開発。
- SmartMed Initiative：スマートウォッチと連動した服薬管理アプリを開発中。中国IT企業との連携によるヘルステック事業への進出。



東泉ファーマ
TOSEN PHARMA